

# セ ー ジ ン 。 下 下

## 呪 精 侍 女

**R-18**  
成人向け  
**ADULT  
ONLY**



俺は目の前で起きた  
非現実な光景に  
息をのむしかなかった

な…

もくもくと立ちこめる  
湯気からのぞく  
その姿—

褐色の肌  
豊満な肉体

水に濡れて  
妖しく輝く  
黒い茂み

え…あ？

ん？

あーあーあー!!  
あーあーあー!!  
あーあーあー!!

話は数時間前に遡る  
考古学者の叔父から  
大荷物を送られてきた

どうもー

ごくろう  
さまです

うわっ…これ  
ミイラだな…

湯を張った所に浸け  
置き塩・釘…

怪しい儀式  
みたいだな…

ミイラって国外に  
持ち出せるもの  
なのか？

最後に額に  
血の刻印…って  
大丈夫かこれ？

これで  
良いのか？

えーっと…  
なにになに…？

こんなもんで  
ミイラが  
復活するかね…



いえ…

彼女はエジプトの王に  
仕えた侍女なのだという



というど？

ですがひとつ  
分からないことが  
あります

再生の儀は王に連なる  
ものしか成功しないはず  
なぜ平民のあなたが…

ああ…



たぶんウチが大名の  
家系だから…  
じゃないかな？

ダイ…  
ミヨウ？

昔この辺一帯を  
治めてた領主のこと  
俺はその子孫



なるほど…

だいたいの事情は  
理解しました

お手間を  
掛けましたね



—  
?!

うん？



たっ！大変  
失礼いたしましたっ！

国は違えど王の血統！  
私を再生させたのが  
何よりの証拠！

そのお方に  
何という無礼を…！

そう言って土下座する  
彼女の姿—

どのような罰でも  
お受けします…

い…いや  
別に…

そのとき俺の中に  
何か別の感情が  
芽生えた気がした

は…はい…

と…とにかく  
今日はもう  
休もう…な



「……って寝れるか！」



「実は…呪いのせいなのか  
身体の火照りが止まらなく…」

「主さまささよろしければ  
私に…精をいただけませんか？」



「あの裸が頭の中で  
再生され続けてる…」

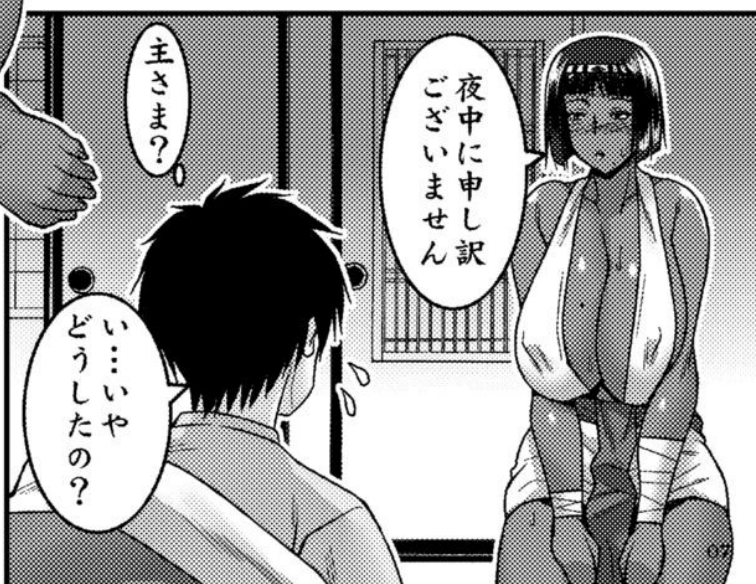
「……  
抜くか？」



「失礼します」

「主さま…まだ起きて  
おられますか？」

「はっ！  
はいっ！」



「夜中に申し訳  
ございません」

「主さま？」

「い…いや  
どうしたの？」



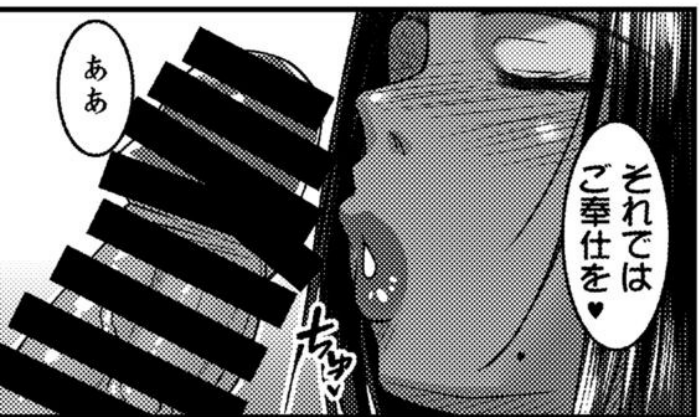
「その瞬間—」

「俺はこの  
感情を理解した」



ああ…  
まさま♡

私めにまさまの  
子種を賜ることを  
嬉しく思います♡



ああ

それでは  
ご奉仕を♡



うっ…!

きゅん

アッ!

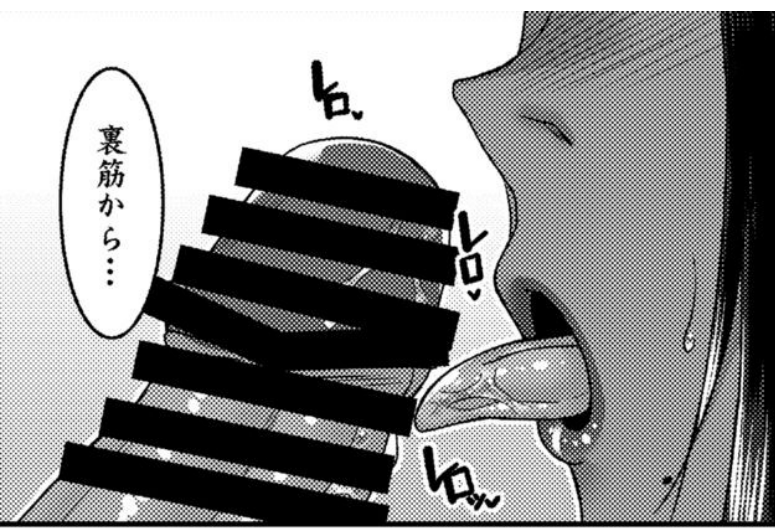
はあっ♡

熱く♡硬く♡大きい♡

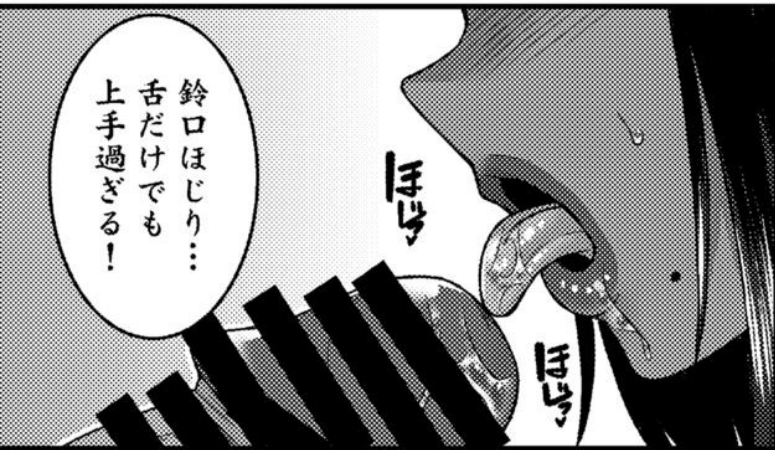


なっ…！何と立派なファルス  
まさま王の威厳そのもの♡

そう…かな？



裏筋から…



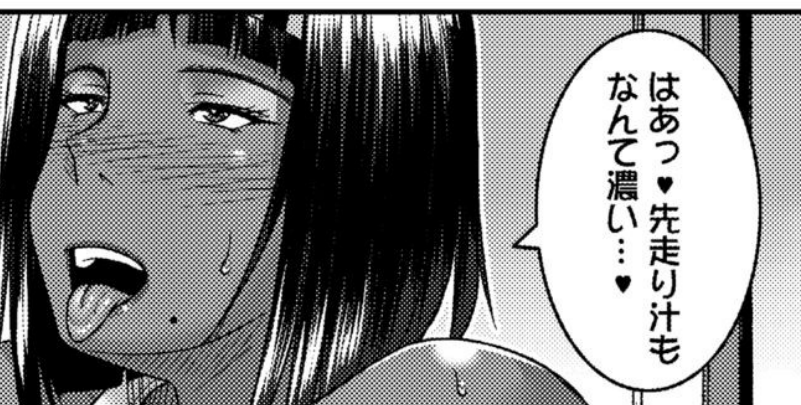
鈴口ほじり…  
舌だけでも  
上手過ぎる！



上目づかい  
エロい…



私の舌に  
絡みついて  
きます♥

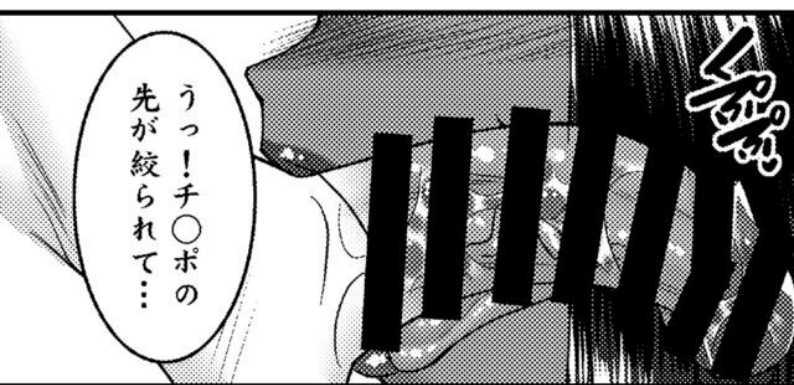


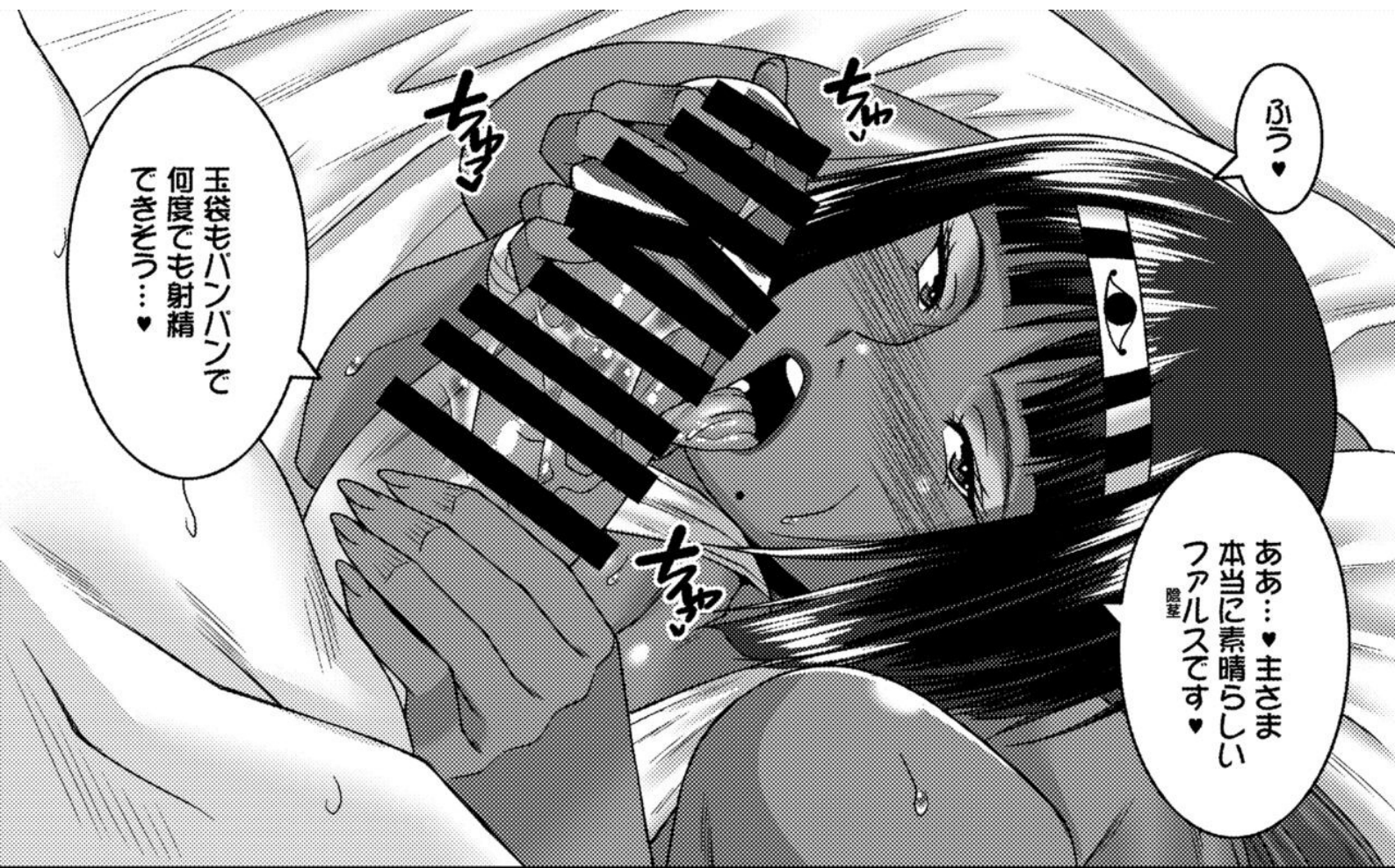
はあっ♥先走り汁も  
なんて濃い…♥



それでは…  
私の口内でご奉仕  
いたします♥

んっ…♥









よし口の中を  
見せてみる

む

わっ

ド

ふあい♡



はあ…♡

まだこんなに♡

この女が目覚めさせた!



飲んで  
いいぞ

んっ…♡



ああ…

これは



俺の中に  
あった支配欲

あっ♡



私の膣内を  
なご  
ご堪能下さい♥

ごち…♥



おっ…♥

どんどん

おほ…お♥



んっ…おっ

んっ…おっ♥



んっ♥

んっ…おっ

はっ♥



あんっ♡

うっ…おっ



ああっ♡主さまっ♡  
大きく硬いっ♡  
主さまのファルスっ♡  
陰茎

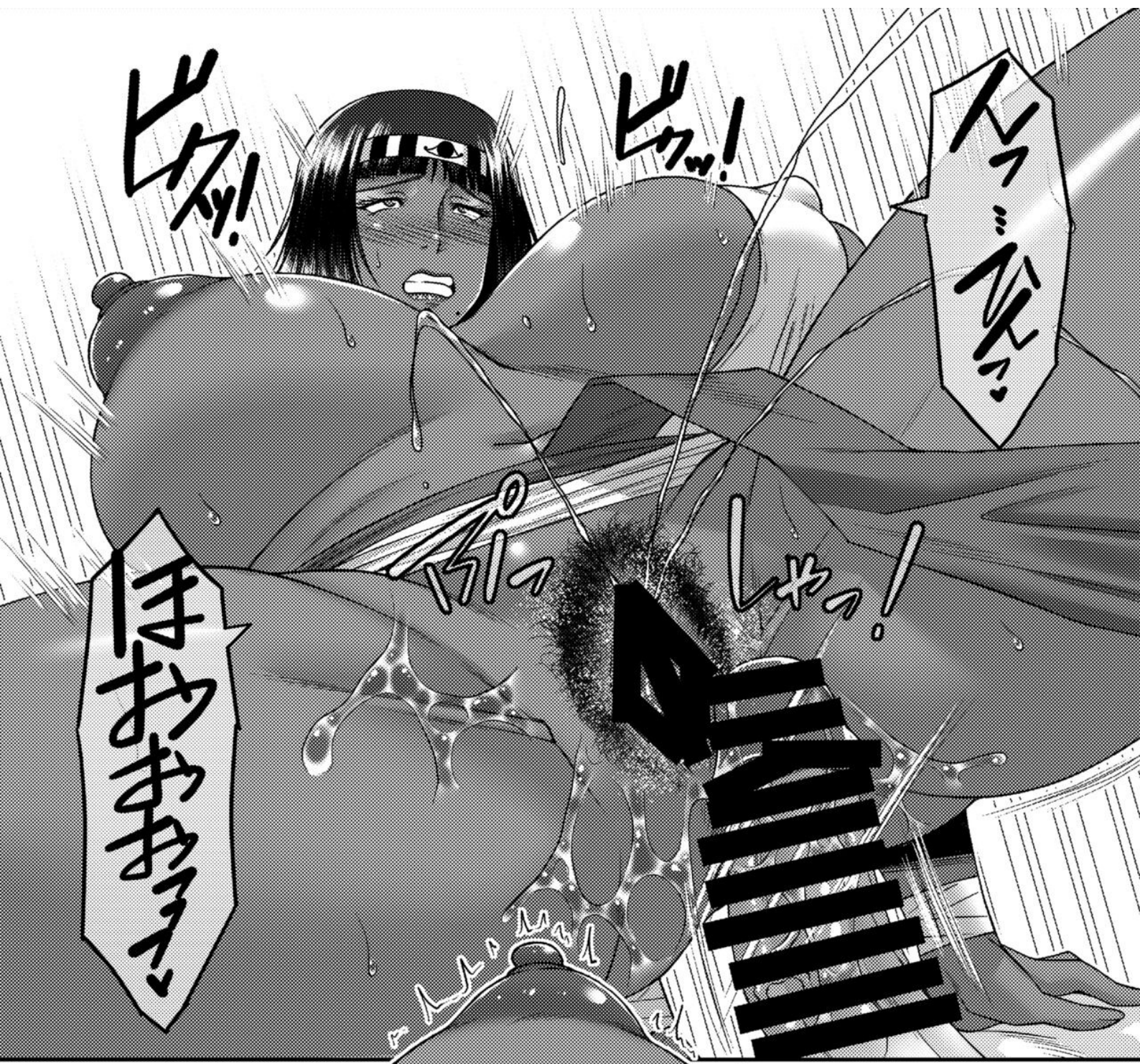


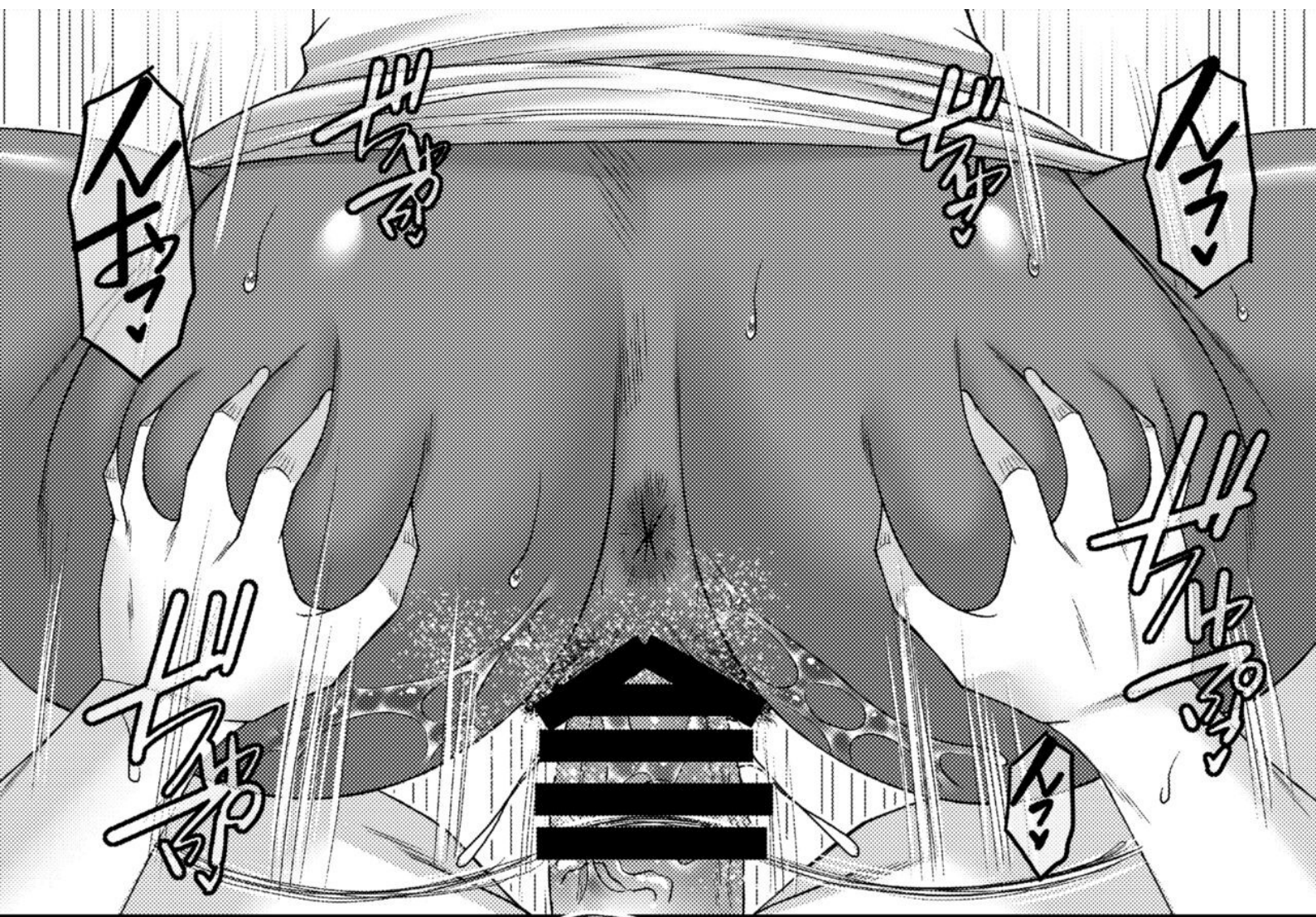
腰を振りながら

腔内が…うねって…











あつーまごまつ  
そんなには拵けては…!

不浄の穴  
ですからっ!

そうか?



拵けるとまた

締まってきたぞ

はっ♡

どっぞ私の膣内に  
お射精くだせいっ♡  
だっ



うっ…射精すぞっ!  
だ

ガッ

ガッ



人々ビビッ

キーンッ!

ビビッ  
ビビッ  
ビビッ  
ビビッ

キーンッ!  
キーンッ!  
キーンッ!  
キーンッ!

キーンッ!  
キーンッ!  
キーンッ!  
キーンッ!

キーンッ!

キーンッ!

キーンッ!

キーンッ!

キーンッ!

ああ…♡

お母様の子種…♡  
熱い…♡濃い…♡  
とても雄強いです♡

まあ主さま♡  
まだこんなになに…

ああ…今日は  
玉蕨が望になるまで  
するからな

満足なほどまで  
私の身体をお使い  
下れ♡

はっ♡



彼女と暮らし始めて  
三か月ほど過ぎた

二人で買い出しに  
出かけることも増えた

ただプロポーション抜群の  
エキゾチックな美人は街中で  
注目されることも多い

こんなに寒いのは  
初めてです

本人はあまり気にして  
いない様子だが

最初はガスコンロ  
ひとつで  
大騒ぎだったが：

朝からこんな豪華な  
食事をいただける  
なんて：

いつ！一瞬で炎が！  
魔法！魔法です！

お気に入り朝食の  
ハチミツらしい

そして：

？

彼女から放たれる  
フェロモンのようなもの

どうしましたか？  
ポーっとして

艶やかな唇

視線

えっ？

否応なしに刺激  
される雄の本能

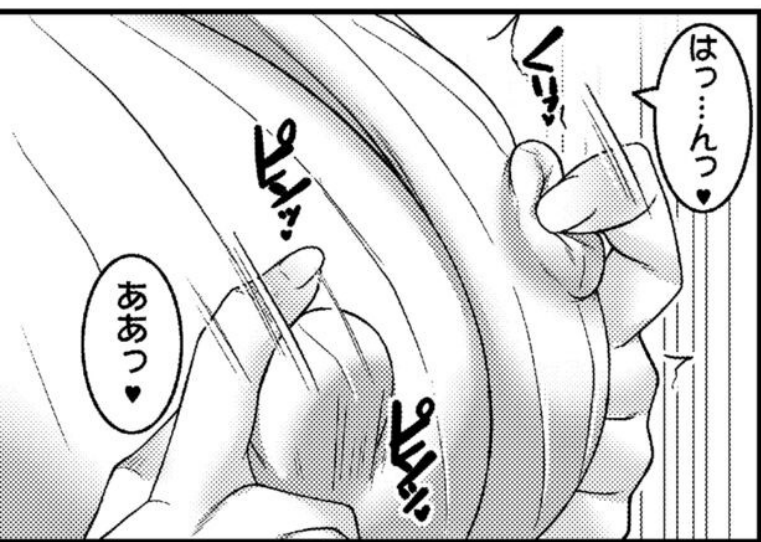
あの…

体調がすぐれないの  
でしたら戻って…

どうしました  
まさま？

えっ？

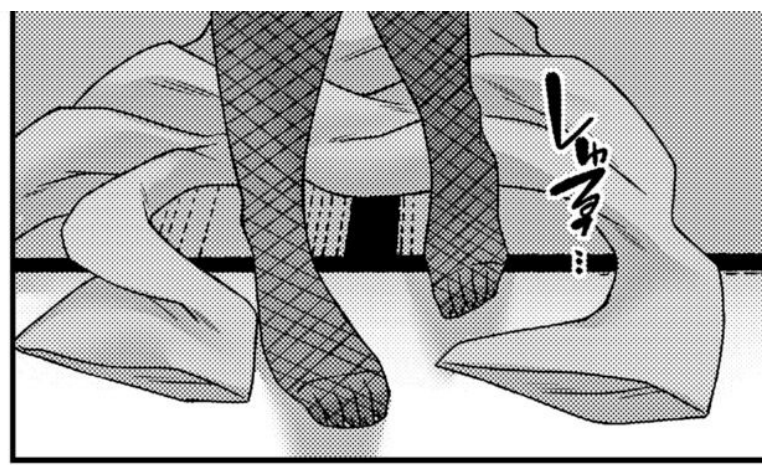
そうなるよー





今日…ずっと  
それで…

そ…それ…



しゅわん…



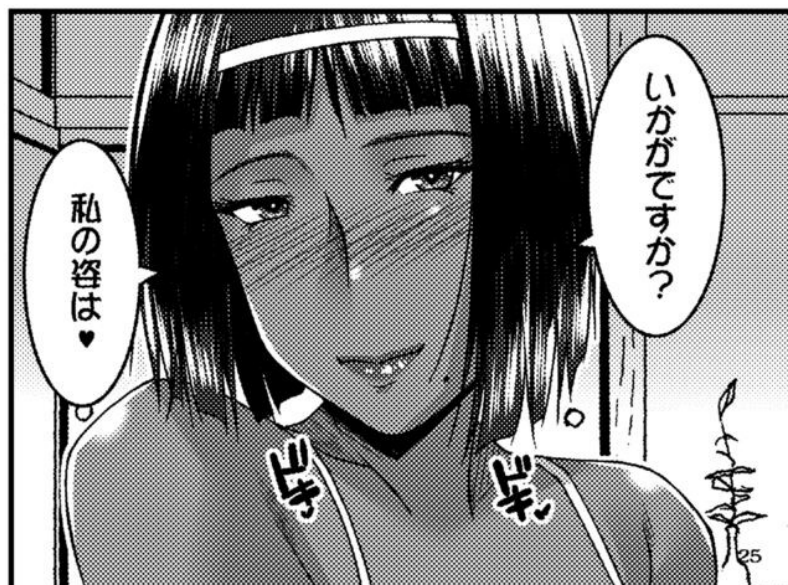
はい♥主さまかひ  
いつ求められても

応えられるように  
しております♥



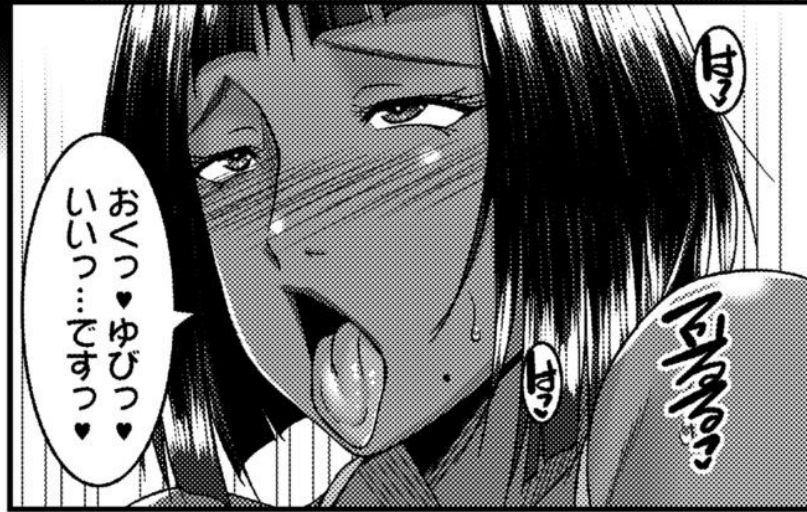
ああ…  
いいよ

このメスを食りたい  
ただそれだけー



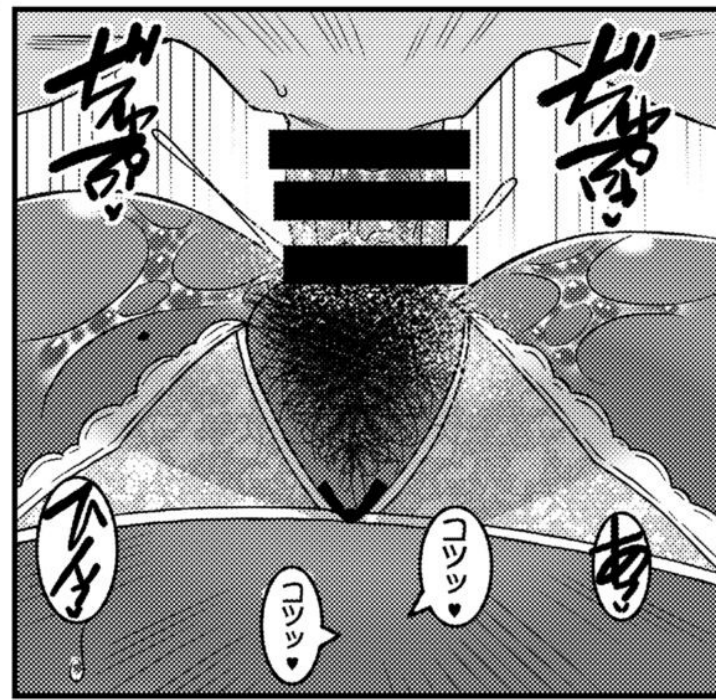
いかがですか？

私の姿は♥



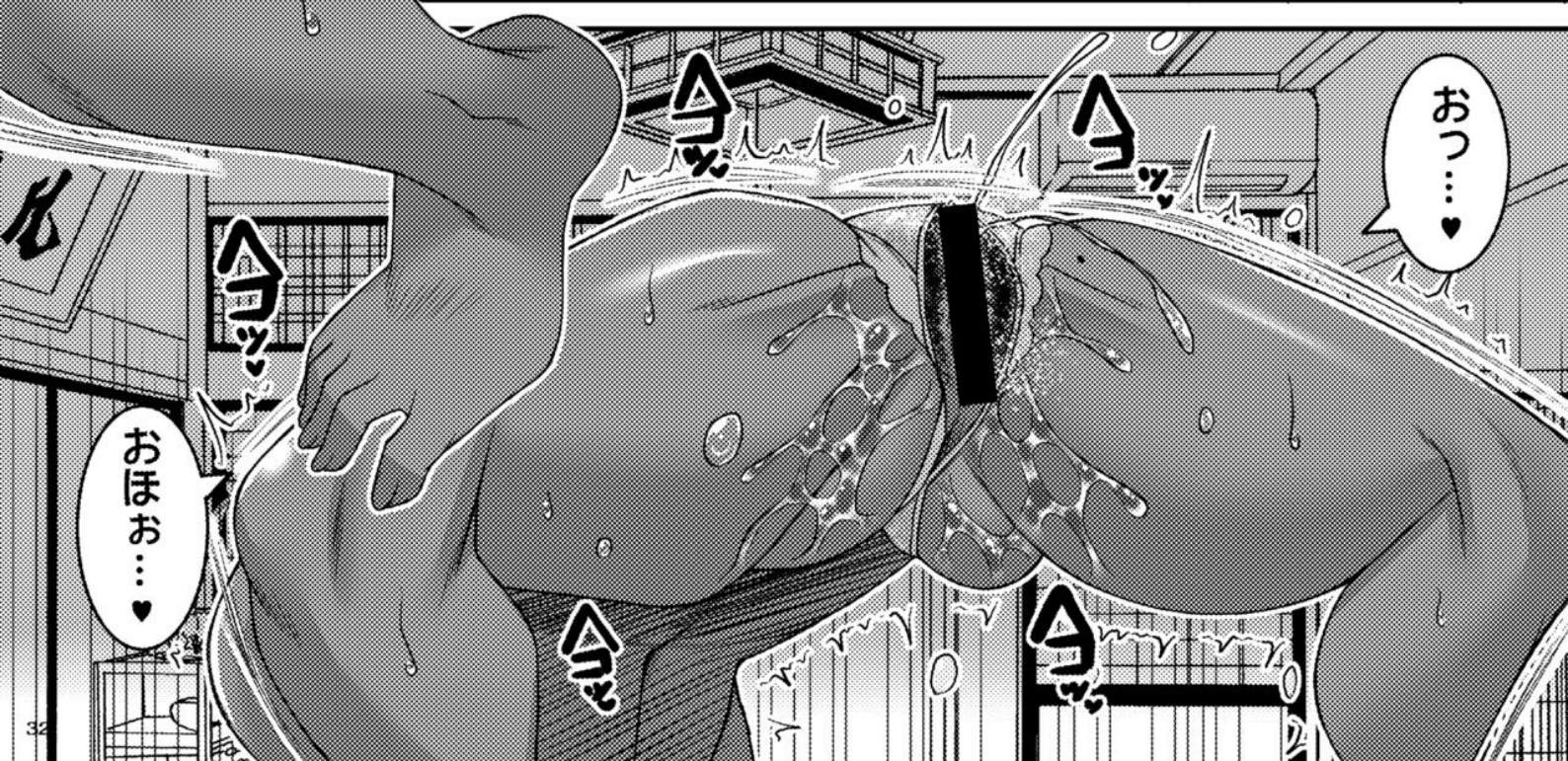
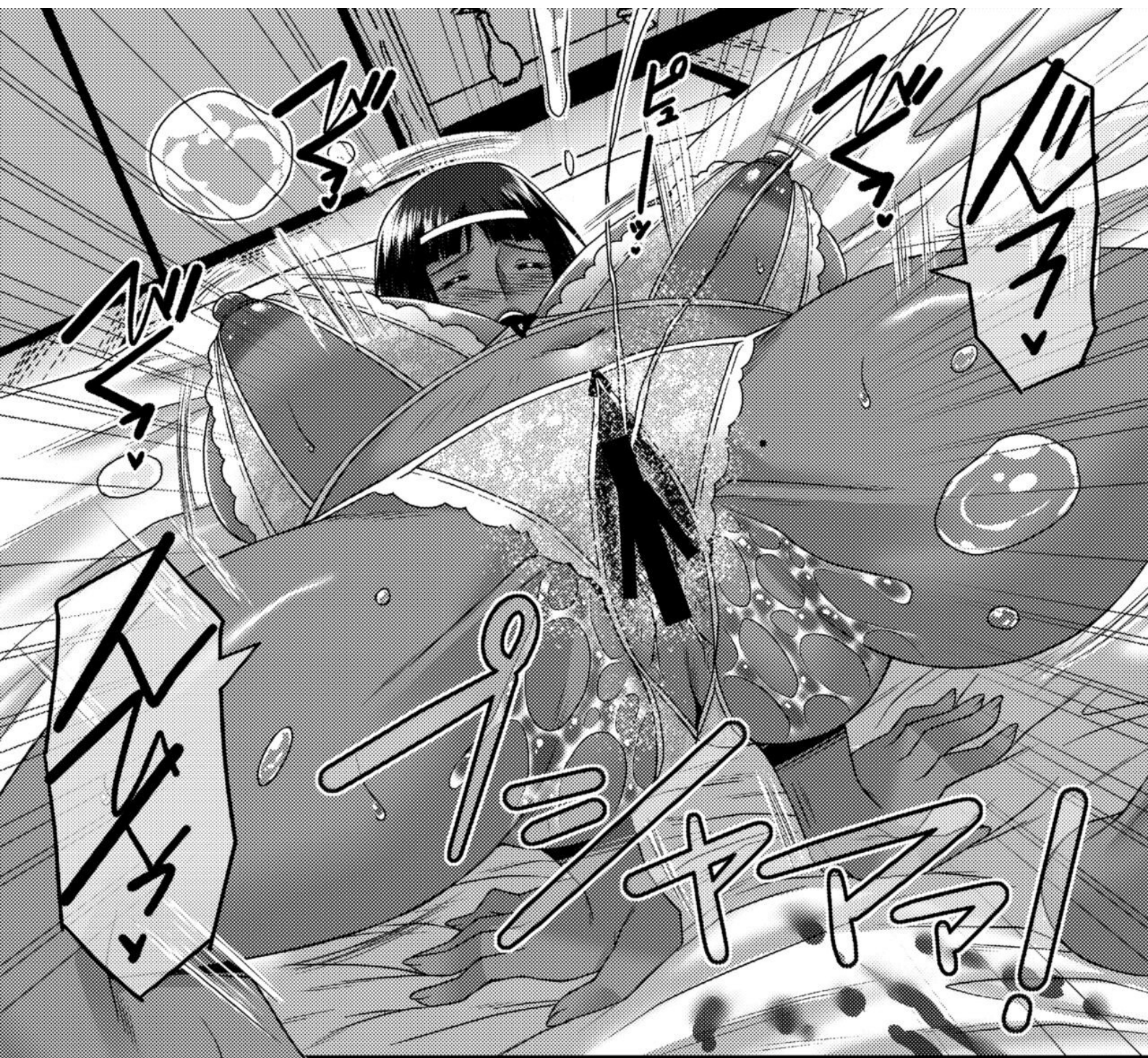




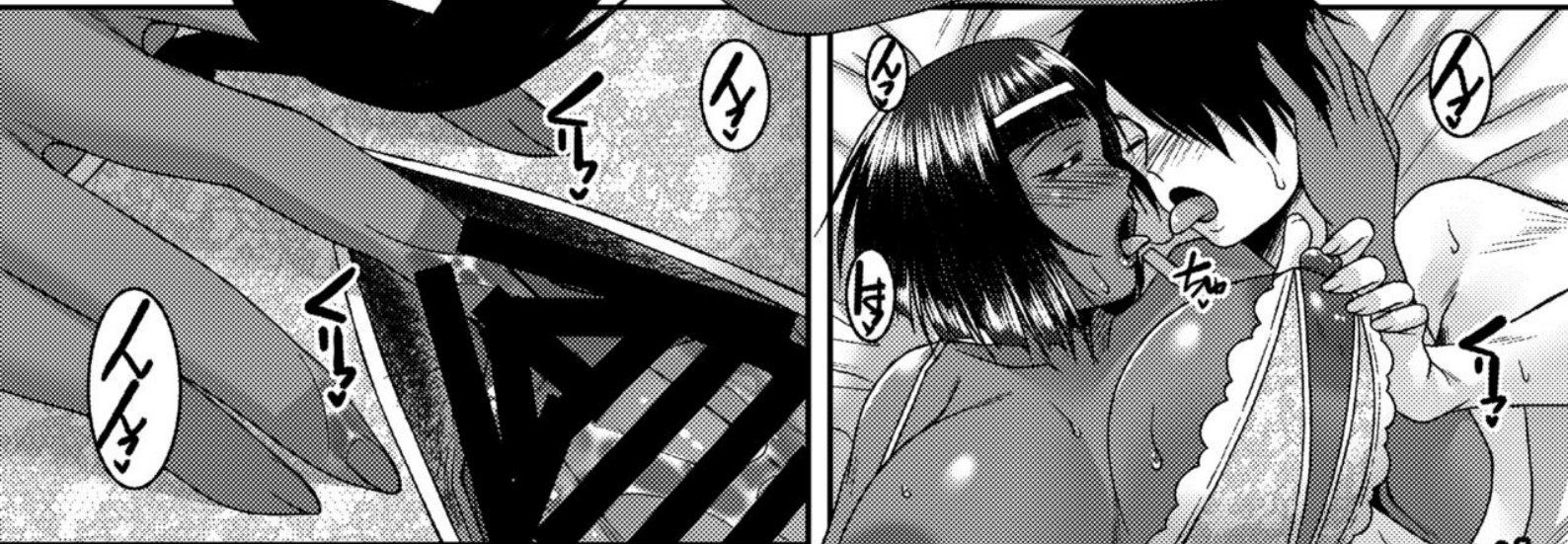




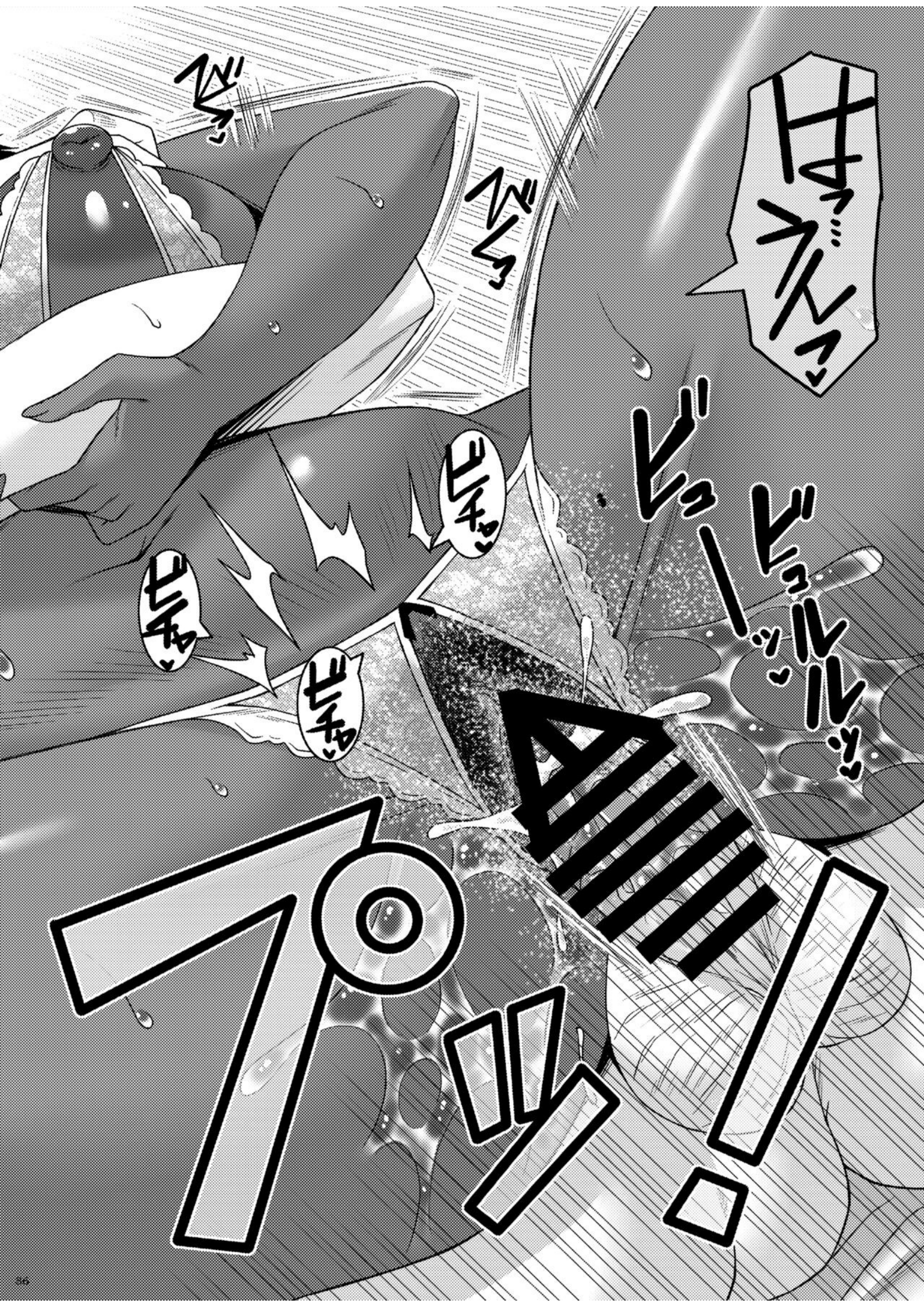


















おはよう  
ございます

あなた♥

数千年越しの嫁  
超歳の差婚だと

-奥付-  
セテパイ呪精侍女-  
印刷：大陽出版株式会社  
2023/12/31 野麦茶発行  
<https://twitter.com/nomugicha>  
無断複製・転載・インターネットへの  
アップロードを禁じます

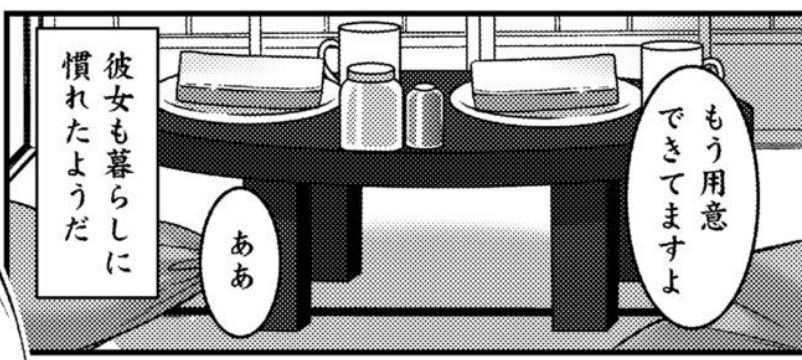


あれから1年  
経過した

ふあ…

キン

キン



彼女も暮らしに  
慣れたようだ

ああ

もう用意  
できてますよ



おはよう

—でも  
時々笑ってしまう





セ  
テ  
パ  
呪精侍女

**R-18**  
成人向け  
**ADULT ONLY**

Presented by Nomugicha  
For Adult Only